

2010年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 《講義録4限目》

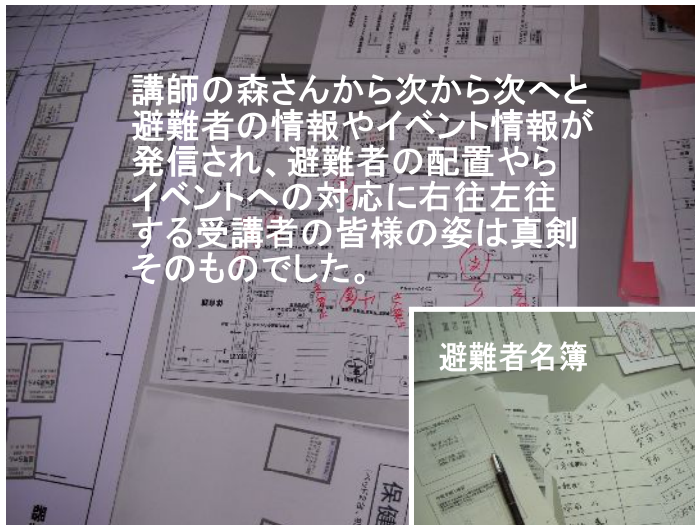
投稿者:「防災塾・だるま」中村 俊光

- ◆開催月日:2010年10月21日(木)
- ◆開催時間:18:30~20:30
- ◆開催場所:神奈川大学横浜キャンパス

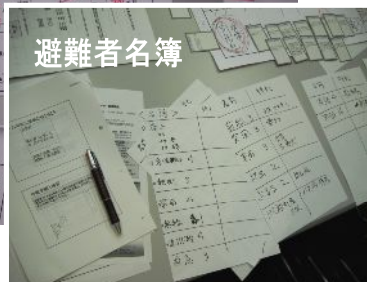
《メインテーマ》避難所運営に係わる実践力の向上

- ◆本日のテーマ◆避難所運営を体感する①(導入編)

〈避難所運営ゲーム(HUG)を通して対応力を養う〉



講師の森さんから次から次へと避難者の情報やイベント情報が発信され、避難者の配置やイベントへの対応に右往左往する受講者の皆様の姿は真剣そのものでした。



《講師》森 清一さん
はだの災害ボランティア
ネットワーク代表

司会進行の
佐藤忠文さん



◆避難所運営ゲーム「HUG」(ハグ)

避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。避難所(H)・運営(U)・ゲーム(G)の頭文字。



◆避難者カード◆世帯の情報(地区名・名前・年齢・家屋の状況・健康状態など)が記入されている。

各班代表発表では避難者を地区ごとに配置、更衣室は図工室、旅行者は国籍別、高齢者は窓際に配置しない、ペットスペースを確保する、要援護者の対応は全て1F、など各班のコンセプトに沿った配置を行い、避難者はなんとかさばいた感がありましたが、イベントの対応には各班苦戦をされていた印象がありました。

最後に講師からカードは文句を言わないがその場で混乱しない様に日頃から訓練を重ねて欲しいとのコメントがありました。



◆イベントカード◆災害対策本部からの連絡事項、避難者からの質問や要望などが記入されている。



最後に各班代表による発表を行いました。

